



【プレス・リリース】

ドイツ証券、国内公募社債案件で初の単独主幹事を務める
アコム総額 100 億円にのぼる国内公募普通社債発行

【2002年3月22日、東京】 ドイツ証券会社東京支店は、本日、アコム株式会社による国内公募無担保普通社債発行で単独主幹事を務め、同債券を成功裡にローンチした旨を発表しました。本社債は、ドイツ証券会社東京支店が国内公募普通社債発行で単独主幹事を務めた、初めての案件となります。

この度、アコム株式会社が発行した社債は第33回国内公募無担保普通社債で、発行価格100円（額面）、利率は年1.61%で、償還期限は2006年4月4日となっています。発行額は100億円、払い込み期日は2002年4月4日です。

また、本社債は、日本格付研究所からAA-（ダブルAマイナス）、格付投資情報センターからA（シングルA）の格付けを取得しています。

国内公募普通社債案件としては初の単独主幹事を務めたドイツ証券会社東京支店の児玉哲哉債券資本市場部長は、「この度、国内発行体による円建ての資金調達を支援でき、大変光栄に思います。ドイツ証券では、国内外の発行体の資金調達ニーズを満たすだけでなく、日本の投資家サイドの運用ニーズにも十分にこたえていく体制を、引き続き強化していきたいと考えています」と述べています。

以上

ドイツ銀行グループは、日本において約1,350名の従業員を擁し、ドイツ証券会社東京支店、ドイツ銀行在日支店、投資顧問子会社等を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、投資顧問などの広範なサービスを提供しています。また、資産規模において世界最大の銀行で、ユーロ圏で主導的な地位を占めています。同グループはユーロマネー誌より2年連続で資金調達における総合力第1位に選ばれており、同誌の2001年1月の「Poll of Polls」でも総合力第1位と高い評価を得ています。

<この件に関するお問い合わせ先>
コーポレート・コミュニケーションズ
安立 聖子
電話: (03) 5156-7705